

Tokyo Auto Salon 2025

カスタムカー SHOW 見聞録

カーグッズマガジンの★見て歩き

最新トレンド
& アイデアを
GET!!

SUV大旋風の 東京オートサロン

クルマというものの価値観が変
化している。これまでオートサロンと
いえば、速さにこだわるチューニン
グや付随するドレスアップが主体だ
ったが、特に2025年のショーで
は、SUVの台頭が目立った。タイミ
ング的にトヨタ・ランドクルーザー
250や三菱トライトンの登場、そ
してスズキ・ジムニー5ドア（ノマ
ド）の登場間際といったことが、クロ
カン系SUVの注目を集めたのだ。

1月に開催された東京オートサロン2025。チューニングカーの祭典として知られているだけに、カーグッズマガジンの読者諸氏にとっては、あまり注目しにくいイベントなのかもしれない。しかしこのショーの中には、カーグッズのトレンドを示唆するような動きも感じ取ることができるのだ。

文&写真：松永大真

クルマの新しい価値

空間利用の進化系

三菱自動車 トライトンカスタマイズ

遊びに泊まりに荷室を使い倒す!

ピックアップという日本ではマイナーな存在。ところが、カッコよさという「力技」でトレンドを振り込ませてきたのが三菱トライトン。考えてみれば、好きなものをなんでも載せていけるのがピックアップ。それこそ部屋までもどこにでも持っていけるという高い機動性は、アイデア次第で様々な遊びをモノにできるんだ、と気がつかせてくれた。載せた姿がかっこいいのも必須。



DJトライトン、DJブースを荷台に仕立てた迫力モデル。これまでピックアップはマイナーだったが、遊び方がわかればなんでも載せられるスペースとして大注目となるはず。

FTポーターエンデュロの室内。ゆったりとした空間を実現できるのも、壁面を垂直にできる荷台だからこそ。元々荷台とは思えない内装が魅力的だ。



トライトン・フレックスドリームFTポーターエンデュロ。ルーフの持ち上がる居住スペースを荷台に仕立てる。全幅ギリギリの大改造で広い室内を実現。



しかしそれ以上にクルマに対して、速さだけではない魅力が広くクロージアアップされてきているように思う。特に注目なのはキャンピングなどを軸足とし、「自然を楽しむ」ためのギアとしてSUVやミニバンを使い倒そうという流れだ。中でも印象的なのは、「積む」と「車内で楽しむ」の進化系だ。多くのギアを積載して移動する、空間を移動させる。その楽しさ、かっこよさを紹介しよう。

RHINO-RACK RIX BOX

堅牢が秀逸のルーフボックス

オーストラリアのRHINO-RACK（ライノラック）は、ルーフラックやキャリアのブランド。見るからに堅牢なスタイルは、アウトドアフリークには堪らない逸品。キャンプ、バイク、ウィンタースポーツ、フィッシングと専用アイテムが揃う。特に今回大々的に紹介されていたカーゴボックスはそのイントロダクションとも言える装備。



堅牢なカーゴボックス。これまでの空力を意識した流麗なルーフボックスとは大きく異なり、ボックスとしての存在感が強めなのが魅力的。バリエーションやカラーも複数揃う。

